

6. この報告書における表及び図の見方

- (1) 図表内に示されている「MA」は複数の回答をすることができる設問を表わす。
- (2) 比率はすべて、各項目の無回答・不明を含む集計対象総数（集計対象を限定する場合はその該当対象数）に対する百分比（%）で表わしている。複数の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は100%を超える。
- (3) 百分比（%）は、原則として小数第2位を四捨五入し小数第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- (4) 属性（性別・年齢等）が不明である回答者については表より削除しているため、属性の合計と回答者の総数は一致しない。
- (5) 表中の「-」は該当者が皆無であることを示す。
- (6) 百分比（%）どうしの比較における差は、原則として「…ポイント」という表現とした。
- (7) 一部の表においては、回答の傾向をみるために回答をまとめて集計を行った。例えば、問1（1）「ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること」においては、「問題あり(342人)」「どちらかといえば問題あり(333人)」「問題なし(47人)」「どちらかといえば問題なし(120人)」を、「問題あり/どちらかといえば問題あり(675人)」「問題なし/どちらかといえば問題なし(167人)」とまとめて集計を行った。